

新たに登録される「口之津14号」の特性

〔要約〕「口之津14号」は、果皮の紅が濃く、糖度が高く、食味良好な 2月以降が可食期となる新しいかんきつである。

長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	育種	対象	果樹類	分類	指導
----------------	----	----	----	-----	----	----

平成5年度果樹試験場業務報告

〔背景・ねらい〕

農林水産省果樹試験場育成の新かんきつについて県内適応性を検討した。

1989年 4月に11年生「松尾温州」に高接ぎを行った「口之津14号」について、1991年産、1992年産及び1993年産果実の形質調査を行った。また、1989年 3月、無加温ハウス内の13年生「青島温州」に高接ぎを行った同系統についても同時期に果実の形質を調査した。

新系統の来歴

系統名	交配組み合わせ
	(♀ × ♂)
口之津14号	アンコール × ポンカン中野3号

〔成果の内容・特徴〕

- ①露地栽培では200g程度の扁平な果実で、果皮の紅が濃い。
- ②糖度が高く、食味はよい。
- ③酸含量の減少が遅いので可食期は 2月以降と思われる。
- ④含核数は多い。
- ⑤無加温ハウス栽培では、果実重250g以上の大果となり、剥皮性もよく、酸含量の減少も早い。
- ⑥糖度が高く食味はよいが、含核数は多い。

〔成果の活用面・留意点〕

- ①樹勢が強く、着花安定技術の確立が必要である。

[具体的データ]

表1 「口之津14号」の果実及び果皮の特性

年産	栽培法	調査 月日	果形 指数	1果 平均重 (g)	果			皮		
					果皮色	カラーチ ャート値	粗滑	はく の難	皮易	厚さ (mm)
1991年	ハウス	1.20	154	285	濃橙	9.5	中	中	2.6	無
	ハウス	1.20	148	327	濃橙	9.0	中	易	3.8	軽
	ハウス	3.19	150	319	濃橙	9.0	中	易	3.3	軽
1992年	露地	2.22	145	206	橙	7.8	滑	中	2.5	無
	ハウス	1.20	164	282	赤橙	9.7	滑	易	3.1	軽
	ハウス	2.22	157	265	濃橙	9.4	中	易	3.7	軽
1992年	露地	1.20	141	172	橙	8.1	中	中	2.8	無
	ハウス	1.20	159	262	赤橙	8.9	滑	易	3.2	無
	ハウス	2.21	—	258	濃橙	—	滑	易	—	軽

表2 「口之津14号」の果肉の特性及び品質

年産	栽培法	調査 月日	果 肉		さじょう			果 汁		
			果肉 歩合 (%)	じょう 膜の厚さ	色	硬さ	含核数	糖度	酸含量	糖酸比
(g/100ml)										
1991年	ハウス	1.20	78.0	薄	橙	軟	23.7	13.4	1.44	9.3
	ハウス	1.20	70.0	薄	橙	軟	14.6	12.6	0.90	14.1
	ハウス	3.19	71.9	薄	濃橙	軟	20.0	14.8	0.88	16.8
1992年	露地	2.22	79.4	中	濃橙	中	25.2	12.8	1.22	10.5
	ハウス	1.20	74.8	薄	濃橙	軟	19.2	11.9	1.13	10.5
	ハウス	2.22	71.0	中	濃橙	中	17.8	12.8	0.98	13.1
1993年	露地	1.20	79.5	やや厚	橙	中	13.0	13.4	1.36	9.9
	ハウス	1.20	78.8	やや厚	濃橙	中	19.8	12.4	0.98	12.7
	ハウス	2.21	83.0	中	濃橙	中	—	12.9	1.03	12.5

[その他]

研究課題名：中晩生カンキツの特性調査並びに栽培試験

予算区分：県単

研究期間：平成5年度（平成1～5年）

研究担当者：濱口壽幸、岸野 功

既発表論文等：平成3、4年度長崎県果樹試験場業務報告。

残された問題点：栽培技術の確立が必要である。